

## 第5学年「国語」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

**成果** ○ 登場人物の心情や変化を、叙述をもとに考える力がついている。

**課題** ▼ 自分の考えを表す際に、適切な文法で表現できないことがある。

▼ 「書くこと」に苦手意識をもつ児童が多く、簡単な短い言葉でまとめようとしていたり、要領を得ずに長い文章になったりしてしまう。

▼ 段落の内容を的確に捉え、段落ごとのまとまりを意識することが難しい。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力。
- ◇ 話し手の意図をつかみながら聞く力。
- ◇ 目的や意図に応じ考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて書く力。
- ◇ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む力。

### 具体的な改善策

- 学習のねらいや話合いの目的を明確にして言語活動に取り組み、ねらいや目的に照らして学びを振り返る習慣を付ける。
- 「3点メモ」（聞き取ったことの要点を3点にまとめる）に取り組む。
- 「内容と構造の把握」を丁寧に指導し、文章構成を意識した「読み」を通して、自分の文章に生かしながら「書く」ことができるようにする。
- 読み取ったことを言葉で表現する活動を意図的に取り入れる。

### 達成目標

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。自分の考えや意見をもち、文章にまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりすることができる。